

第2回 女性の職業生活における活躍推進プロジェクトチーム議事要旨

(開催要領)

1. 開催日時：令和6年5月14日(火) 16:00~18:00

2. 場所：中央合同庁舎4号館 共用1202会議室

3. 出席委員：

座長	矢田 稚子	内閣総理大臣補佐官
副座長	横田 美香	内閣官房内閣人事局内閣審議官
	林 伴子	内閣府政策統括官(経済財政分析担当)
	岡田 恵子	内閣府男女共同参画局長
	堀井奈津子	厚生労働省雇用環境・均等局長
	青山 桂子	厚生労働省政策立案総括審議官(統計、総合政策、政策評価担当)
構成員	植松 利紗	内閣官房内閣人事局内閣参事官
	上田真由美	内閣府男女共同参画局推進課長
	細田 大造	総務省自治行政局公務員部公務員課長
	安藤 英樹	厚生労働省雇用環境・均等局雇用機会均等課長
	田村 雅	厚生労働省雇用環境・均等局有期・短時間労働課長
	源河真規子	厚生労働省大臣官房人事課長
	森 拓光	金融庁監督局総務課長
	田邊 光男	総務省情報流通行政局情報通信政策課長
	平嶋 壮州	厚生労働省政策統括官付参事官(総合政策統括担当)
	尾室 幸子	農林水産省経営局就農・女性課長
	相馬 知子	経済産業省経済産業政策局経済社会政策室長
	田中 賢二	国土交通省総合政策局バリアフリー政策課長
参考人	白河 桃子	相模女子大学大学院特任教授
	大崎 麻子	特定非営利活動法人 Gender Action Platform 理事
	渡邊顕太郎	農林水産省大臣官房新事業・食品産業食品製造課長

(議事次第)

1. 開会

2. 議事

(1) 各産業及び公務部門における男女間賃金格差に関する議論

(2) 有識者ヒアリング

・白河桃子 相模女子大学大学院特任教授

・大崎麻子 特定非営利活動法人 Gender Action Platform 理事

3. 閉会

(資料)

資料 女性の職業生活における活躍推進プロジェクトチームの開催について

資料 内閣府政策統括官（経済財政分析担当）提出資料

資料 白河桃子様提出資料

資料 大崎麻子様提出資料

(概要)

(1) 各産業及び公務部門における男女間賃金格差に関する議論（非公開）

○各産業及び公務部門における男女間賃金格差の実態や課題等について所管省庁等から説明。

○内閣府政策統括官（経済財政分析担当）から、資料に基づき、女性の職業生活における活躍がもたらすマクロ経済への影響について説明。

○これらを踏まえて議論。

(2) 有識者ヒアリング

○白河桃子相模女子大学大学院特任教授から、資料に基づき、民間企業における男女間賃金格差とその是正策、非正規雇用労働者等に関する政策的課題、女性活躍推進の目的について指摘および説明。

○大崎麻子特定非営利活動法人 Gender Action Platform 理事から、資料に基づき、男女間賃金格差の是正のための必要事項や、そのために国連「女性のエンパワーメント原則（WEPs）」を活用し、男女間格差の要因分析をしてアクションプランを定める重要性、地方での取組における地方銀行の役割、就活生・求職者への啓発等について説明。

(3) 矢田総理補佐官の発言

○本日は構成員から、所管業界や公務部門における男女賃金格差の実態、課題についてご説明いただいた。また農業や情報通信業については好事例について紹介いただき、議論を進めた。有識者のお2人には貴重な提言をいただいた。男女共同参画を進めるには、今回紹介いただいた「WEPs」のような細かい分析までやる必要があることを意識すべき。

○各省庁の報告を聞いて。

男女の賃金格差の要因として、仕事の先入観にとまなう職種による男女の労働者数の偏りがあるという課題、管理者の女性登用が進まないという課題、子育て負担が女性に集中し、女性の勤続年数が伸びず短いという課題があると思われる。

○また、アンコンシャス・バイアス（職場における無意識の思い込み）、長年積み上げられてきた職場慣行により、女性の活躍が阻害されていないか。

○今回の議論を踏まえて、さらにもう一步踏み込んで課題を整理いただきたい。次回の開催では、業界ごと、業界共通の課題について改めて議論し、今後の取り組みについて論議を深めたい。

○我が国の女性活躍の推進と、構造的な賃上げの実現に向け、男女の賃金格差の是正は

我々だけの問題ではなく、経済政策であるということを肝に銘じていただきたく、所管省庁の皆さんの最大限の努力をお願いしたい。